
2026年度 学 生 募 集 要 項

スポーツ科学研究科

博士前期課程

学内選抜

一般選抜

スポーツ選抜

社会人選抜

外国人選抜

博士後期課程

学内選抜

一般選抜(語学・口述試験)

一般選抜(プレゼンテーション)

 大阪体育大学大学院

大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程は、総合的な視点からスポーツ現象を分析し評価できるスポーツ科学の知識をもった高度専門職業人と研究者の育成を目的とし、次のような学生を求める。

- （１）スポーツ科学の諸側面とそれらをめぐる諸問題（競技力の向上、ヒトの高齢化と健康の維持、スポーツの価値と社会貢献等）を多角的に研究することを目標に据える学生
- （２）スポーツ事象で発生する個別的な諸現象・問題に対し、スポーツ科学の総合的理解に根ざした分析を通じ、研究や実践の場において貢献しようとする学生
- （３）多様化するスポーツ・体育とその過程に組み込まれた日本のスポーツ・体育の複雑な様相に関心をもち、多様な文化背景と豊富な経験を備えた学生
- （４）スポーツ科学実践プログラムを選択した者は、保健・体育科教育学分野では、保健体育の重要性を理解し、教育現場で貢献しようとする学生。スポーツマネジメント分野では、ビジネスマインドを持ち、スポーツビジネスを通じて社会に貢献しようとする学生

博士後期課程は、社会の多様なニーズに応えるために、高度な専門的知識に裏打ちされた斬新な研究を行う人材の育成を目的とし、次のような学生を求める。

- （１）高度で独創的な研究を行い、優秀な博士論文を執筆し、博士号を取得することを志す学生
- （２）学会などで研究発表を行い、学術誌・学会誌に論文を投稿し、それぞれの分野でリーダーシップが発揮できる学生

目 次

募集人員、入学検定料、出願上の注意等	3
入試日程	4
納付金、奨学金	5
研究領域・学問分野.....	6
博士前期課程 長期履修制度	7
博士前期課程 高度専門職業人養成のための「スポーツ科学実践プログラム」	10
博士前期課程 昼夜開講制	13
博士後期課程 研究奨学生 募集要項.....	14
博士前期課程・博士後期課程 学内選抜 募集要項	15
博士前期課程 一般選抜・スポーツ選抜・社会人選抜・外国人選抜 募集要項	21
博士後期課程 一般選抜 募集要項	35
交通案内	43
博士前期課程・博士後期課程 内諾書	45
博士前期課程・博士後期課程 入学志願書	49
博士前期課程・博士後期課程 学内選抜 出願書類	55
博士前期課程 A日程・B日程入試 出願書類	65
博士後期課程 A日程・B日程入試 出願書類	87
博士前期課程・博士後期課程 研究奨学生応募書類	99
博士前期課程 長期履修制度 申請書類.....	105

募 集 人 員

課 程	博士後期課程	博士前期課程
人 数	6 名	2 4 名
選抜種別	① 学内選抜 ② 一般選抜 (語学・口述試験) ③ 一般選抜 (プレゼンテーション)	① 学内選抜 ② 一般選抜 ③ スポーツ選抜 ④ 社会人選抜 ⑤ 外国人選抜

※選抜種別ごとに、合格者数の枠は設けておりません。

入 学 検 定 料

35,000円(1出願)

【検定料振込先】

振込銀行名 三井住友銀行

支 店 名 佐野支店

口 座 番 号 普通 1932781

口 座 名 義 おおさかたいいくだいがくだいがくいん 大阪体育大学大学院 りじちょう 理事長 の だ けん じ 野田賢治

振 込 期 間：各入試の出願期間中

試 験 会 場

大阪体育大学

〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1

出願上の注意

(1) 希望する指導教員とのコンタクトについて

- ・大学院案内、本学ホームページなどで教員の学問分野や研究領域を確認し、業績や授業内容を参考にして決めること
- ・志願者は、希望する指導教員の研究内容について確認し、出願資格審査が必要な者は出願資格審査書類提出の1ヶ月前までに、出願資格審査を要しない者は出願の1ヶ月前までには希望指導教員とコンタクトをとり、合格し入学が許可された場合に、指導教員となることの内諾を得る必要がある
- ・学外からの志願者は、希望指導教員とコンタクトをとる前に大学院事務室に連絡すること

(2) 内諾について

- ・希望指導教員から合格後の受入れ内諾を得られたのち、希望指導教員に内諾書作成をE-mail等で依頼すること

(3) 出願書類の提出について

- ・ 出願書類は郵送または大学院事務室まで持参すること

郵送の場合 「レターパックプラス」で出願期間内に必着

※外国から発送する場合は「国際スピード郵便（EMS）」のような追跡できる郵送方法とすること

持参の場合 月曜日～金曜日：9：00～17：00（土・日・祝日は受け付けない）

(4) その他

- ・ 受け付けた出願書類及び検定料は、いかなる理由があっても返還しない
- ・ 出願書類に不備がある場合、受験を認めないことがあるので十分注意すること
- ・ 提出後の出願書類の変更は認めない
- ・ 出願書類に不明な点がある場合、問い合わせること

大阪体育大学教学部大学院事務室担当

TEL 072-453-7031（月～金：9：00～17：00）

入学試験受験時に配慮が必要な方について

身体に障がいのある方は、その障がいの程度に応じて、受験時に特別な配慮・措置を講じるなどの対応を行うので、出願の前に申し出ること

入 試 日 程

博士前期課程・博士後期課程

入試種別		出願資格審査		入試スケジュール			
		※詳細は各募集要領参照 ・博士前期・後期課程一般選抜は 該当者のみ ・博士前期課程スポーツ・社会人・ 外国人選抜は必須		出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
		書類提出期間	結果通知				
学内選抜入試 (博士前期課程・ 博士後期課程)				2025年6月19日(木) ～6月27日(金)	2025年7月7日(月)	2025年7月18日(金) 発送	2025年8月19日(火)
A日程入試	博士後期課程 一般選抜	2025年7月25日(金) ～8月5日(火)	2025年8月20日(水) 発送	2025年8月25日(月) ～9月5日(金)	2025年9月20日(土)	2025年9月29日(月) 発送	2025年10月20日(月)
	博士前期課程 一般選抜						
	スポーツ選抜						
	社会人選抜						
	外国人選抜						
B日程入試	博士後期課程 一般選抜	2025年11月25日(火) ～12月5日(金)	2025年12月15日(月) 発送	2026年1月13日(火) ～1月26日(月)	2026年2月7日(土)	2026年2月18日(水) 発送	2026年3月9日(月)
	博士前期課程 一般選抜						
	スポーツ選抜						
	社会人選抜						
	外国人選抜						

※各発送日は予定日

納 付 金

	年 額	前 期	後 期
入 学 金	200,000円	200,000円	－
授 業 料	700,000円	350,000円	350,000円
実 験 実 習 費	60,000円	60,000円	－
教育後援会費	12,000円	12,000円	－
合 計	972,000円	622,000円	350,000円

＊本学出身者は入学金を免除する

＊入学手続き時に、前期分を納入した場合は、後期分の納入期限は入学後の10月15日とする

奨 学 金

○大阪体育大学大学院研究奨学金制度

本学独自の給付型奨学金制度で、返済の義務はない。

募集について

・学内選抜入試における募集

募 集 枠：博士前期課程1名、博士後期課程1名（入試合格者）

給 付 額：月額5万円

募集方法：希望者は学内選抜の出願書類とともに研究奨学生応募書類を提出すること

・A日程・B日程入試における募集

募 集 枠：博士前期課程5名、博士後期課程3名（入試合格者）

給 付 額：月額5万円

募集方法：

＜博士前期課程＞

原則としてA日程入試で3名、B日程入試で2名募集する。ただし、各入試の一般選拔出願者より決定し、一般選抜で募集人数に満たない場合は、未決定の人数枠はスポーツ選抜、社会人選抜、外国人選抜から決定する。希望者は出願書類とともに研究奨学生応募書類を提出すること

＜博士後期課程＞

A日程のみの募集とするが、A日程で3名に満たない場合は、B日程入試で残りの人数枠を追加募集する。希望者は出願書類とともに研究奨学生応募書類を提出すること

給付期間等

- ・博士後期課程は入試種別にかかわらず、入試出願時の募集により決定した後は原則として3年間継続して給付される。(各年次の年度末に年次報告書を提出すること)
- ・博士前期課程は、入試出願時の募集では1年次での給付のみ決定する。2年次での給付は、2年次の年度始めに募集し、1年次の研究業績等に基づき決定する。
(2年次での募集枠は、学内選抜による入学者枠1名、A日程・B日程入試による入学者枠5名)

○日本学生支援機構奨学金制度

第一種、第二種ともに入学後に案内する

予約採用は行っていない

研究領域・学問分野

※出願書類に記入欄あり

事前に指導教員に確認のうえ、出願書類へ記入すること

研究領域（5）				
スポーツ文化	競技スポーツ	健康スポーツ	学校体育	レジャー・レクリエーション

学問分野（11）										
文化・社会科学領域						身体運動・コーチ科学領域		健康・医科学領域		
保健・体育科教育学	スポーツ史・哲学	スポーツ社会学	スポーツマネジメント	スポーツ心理学	アグプテッド・スポーツ	バイオメカニクス	教授学（指導方法学）	スポーツ生理学	スポーツ医学	スポーツ栄養学

博士前期課程 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事由により、本来の標準修業年限（２年）では履修が困難だと認められる者について、本来の修業年数（２年）において支払う授業料で、標準修業年限（２年）を超えて計画的に履修する事を可能にする制度です。この制度は、博士前期課程に入学する者、または在学する者が対象となります。

申請にあたっては、長期履修期間中の履修や研究方法等について、あらかじめ指導教員に相談し、承諾を得てください。

1. 対 象 者

次のいずれかに該当する者が対象となります。なお、外国人留学生（在留資格「留学」を有する者）は申請できません。

- ・ 就業している者（自営業、単発的なものを除く非正規雇用も含む）。
- ・ 出産、育児、長期介護、身体の障がい等の事情を有する者。
- ・ その他、やむを得ない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難であると研究科長が認めた者

2. 長期履修期間

在学年限（博士前期課程４年）の範囲内で、１年単位とします。

- ・ 休学期間は長期履修期間に含めません。

3. 申 請 手 続

(1) 申請期間

- ・ 入学時から長期履修制度の利用を希望する者は、出願時にあわせて申請すること。結果は入学試験合否結果とともに通知します。
- ・ 入学後に新たに長期履修制度の利用を希望する者は、博士前期課程１年次生のみ申請することができます。

(2) 申請書類（本学ホームページからダウンロードすることもできます。）

- ・ 長期履修学生申請書（様式第１号）
- ・ 研究計画書（様式第２号）
- ・ 長期履修が必要であることを証明する書類（在職証明書等）（任意書式）

4. 納 付 金

本学規定の授業料と実験実習費を標準修業年限（2年）に乘じ、長期履修期間（3年または4年）で分割した額を、年度ごとに納入していただきます。当該額に1,000円未満の端数があるときは、切り上げとします。具体的な納入額、納入時期等については、長期履修の許可時に通知します。

- ・ 入学金は、本学規程の額を初年度に納入していただきます。
- ・ 教育後援会費は、本学規程の額を標準修業年限（2年）の間、納入していただきます。
- ・ 長期履修学生については、授業料等の延納（分納は可）の制度は適用できません。

5. 長期履修期間の変更（延長・短縮・取消）

長期履修学生として許可された者が、長期履修の期間の延長、短縮あるいは取消をしたい場合は、指導教員の承認を得た上で、長期履修期間の変更が可能です（在学中1回限り）。

(1) 変更願の提出期間

- ・ 変更を希望する前年度の3月末日まで

(2) 変更願書類 長期履修期間変更願書及び理由書（様式第3号）

・ 延長

延長は、変更前の長期履修期間における最終学年在学者は願い出ることはできません。

・ 短縮

短縮は、短縮後に1年以上の修業期間がない場合は願い出ることができません。また、短縮後の期間で修了できなかった場合は、通常の学生が留年した場合と同様の取扱いとなります。

・ 取消

取消は、標準修業年限における最終学年（2年）在学者は申請できません。また、取消後にあらためて長期履修制度に申請することはできません。

6. そ の 他

- ・ 標準修業年限を超えた期間は、学内奨学金の対象にはなりません。
- ・ 標準修業年限を超えた期間は、日本学生支援機構の奨学金の対象になりません。ただし、その後の在学期間中は、在学届等所定の書類を提出することで返済が猶予されます。
- ・ 長期履修制度は、単位の取得状況や学位論文の審査過程により修了が延期となる（いわゆる留年）者を救済する制度ではありません。
- ・ 在学期間中に起こった療養、海外留学等、一定期間履修することができない者も対象ではありません。

大阪体育大学大学院
スポーツ科学研究科 博士前期課程

長期履修制度 学費納入金額（参考例）

長期履修期間3年の場合

(円)

			納入金額	内訳			
				入学金	授業料	実験実習費	教育後援会費
1年目	一括		732,000	200,000	480,000	40,000	12,000
	分納	前期	482,000	200,000	250,000	20,000	12,000
		後期	250,000	－	230,000	20,000	－
2年目	一括		512,000	0	460,000	40,000	12,000
	分納	前期	262,000	－	230,000	20,000	12,000
		後期	250,000	－	230,000	20,000	－
3年目	一括		500,000	0	460,000	40,000	0
	分納	前期	250,000	－	230,000	20,000	－
		後期	250,000	－	230,000	20,000	－
合計			1,744,000	200,000	1,400,000	120,000	24,000

長期履修期間4年の場合

(円)

			納入金額	内訳			
				入学金	授業料	実験実習費	教育後援会費
1年目	一括		592,000	200,000	350,000	30,000	12,000
	分納	前期	402,000	200,000	175,000	15,000	12,000
		後期	190,000	－	175,000	15,000	－
2年目	一括		392,000	0	350,000	30,000	12,000
	分納	前期	202,000	－	175,000	15,000	12,000
		後期	190,000	－	175,000	15,000	－
3年目	一括		380,000	0	350,000	30,000	0
	分納	前期	190,000	－	175,000	15,000	－
		後期	190,000	－	175,000	15,000	－
4年目	一括		380,000	0	350,000	30,000	0
	分納	前期	190,000	－	175,000	15,000	－
		後期	190,000	－	175,000	15,000	－
合計			1,744,000	200,000	1,400,000	120,000	24,000

※本学卒業生は入学金が免除されます。

博士前期課程 高度専門職業人養成のための 「スポーツ科学実践プログラム」

スポーツ科学実践プログラムは、高度専門職業人の養成を主たる目的として、保健・体育科教育学分野、スポーツマネジメント分野およびスポーツコーチング分野に開設しています。高度で専門的な知識・技能を身につけてから社会で活躍したいという学部生、既に社会で活躍しているが、さらにスキルアップを図りたい社会人に向けたプログラムです。

特に現職教員や社会人にとってはリカレント教育という位置づけになります。長期履修制度と組み合わせることによって、仕事を続けながら、修士（スポーツ科学）の学位を取ることができます。

○保健・体育科教育学分野の目的

①教科に関する高度な専門性、②子どもの学びに関する理解、③自らの実践を改善できる省察力の育成を目指します。具体的には、自ら授業をデザインする力、指導内容を構成する力、子どものつまずきの理解とそれに対応する力、指導中に生じるトラブルに対応できる力などを持った人材を育成します。保健・体育教員を目指している方だけでなく、現職の保健・体育教員の方にも対応できるプログラムです。

○スポーツマネジメント分野の目的

ビジネスマインドを持ち、スポーツ・アウトドアに関する民間企業、NPO等で活躍できるスポーツ経営人材の育成を目指します。具体的には、①スポーツ・アウトドアビジネスのための高度な専門知識、②インターンシップに基づく実践的能力、③専門性に裏付けられた斬新な企画力を育成します。現在、地球規模のものから地域特有のものまで様々な社会課題が山積しています。このような課題に対して、スポーツビジネスを通して解決の糸口を提供できるような視点を持った人材の育成を目指します。

○スポーツコーチング分野の目的

新しい時代にふさわしいスポーツコーチングを提案するために、スポーツ科学研究の成果を利用した専門的知識、人間力、実践力を有したコーチの養成を目指します。具体的には、スポーツの競技力向上を目的とした①スポーツ科学に関する高度な専門知識の修得、②コーチング現場における課題の明確化とそれに対する具体的な改善策の立案、③現場での戦略的なコーチングの実践と評価によってコーチングの実践知を構築できる人材を養成します。自らをコーチングして競技力向上に取り組むことを目指す現役で活動している方（選手、愛好者など）や、すでにコーチングに従事しているがより良いコーチングを目指して学びたい現役コーチのためのプログラムです。

※このプログラムを行う指導教員は下記になります。

○保健・体育科教育学分野

小林博隆准教授、浜上洋平准教授

○スポーツマネジメント分野

富山浩三教授、藤本淳也教授、徳山 友教授

中山 健教授、伊原久美子教授

○スポーツコーチング分野

全教員

カリキュラム

実践に裏打ちされた幅広い知識と発生した問題に対して臨機応変に対応できる実践力、さらには高い倫理性を涵養するため、実践的科目と理論的科目をバランスよく組み合わせたカリキュラムを提供します。

	保健・体育科教育学分野	スポーツマネジメント分野	スポーツコーチング分野
発展科目	体育・保健授業づくり 実践実習Ⅰ (2単位) 体育・保健授業づくり 実践実習Ⅱ (2単位) 体育・保健授業づくり 実践指導実習 (2単位) 【6単位必修】	スポーツマネジメント 実践論特論Ⅰ (必修 2単位) スポーツマネジメント 実践論特論Ⅱ (必修 2単位) インターンシップⅠ (選択必修 2単位) インターンシップⅡ (選択必修 4単位) 【6単位以上必修】	スポーツコーチング実践特論 (2単位) スポーツコーチング実践演習 (2単位) スポーツコーチング実践実習Ⅰ (選択必修 2単位) スポーツコーチング実践実習Ⅱ (選択必修 2単位) 【6単位以上必修】
基礎科目	体育授業目標・内容論特論 (2単位) 授業観察評価法特論 (2単位) 保健体育教材設計特論 (オムニバス、2単位) 【6単位必修】	スポーツビジネス特論 (2単位) スポーツマネジメント論特論 (2単位) スポーツマーケティング論特論 (2単位) スポーツ社会学特論 (2単位) 冒険教育特論 (2単位) グローバルスポーツ マネジメント特論 (2単位) スポーツスポンサーシップ論 特論 (2単位) 【6単位以上必修】	スポーツコーチング論特論 (2単位) 体育・スポーツ哲学特論 (2単位) スポーツリーダーシップ論特論 (2単位) 【6単位必修】
共通科目	共通科目 (特論演習を除く)・総合科目 但し、スポーツ科学統計 (1) を選択することが望ましい		
必修	特論演習 (1) ～ (4) (4単位) 学位論文または特定の課題研究 【4単位必修】		

※合計30単位を取得

○実践実習・インターンシップ

保健・体育教育学分野の実践実習、実践指導実習、または、スポーツマネジメント分野のインターンシップ、スポーツコーチング分野のスポーツコーチング実践実習は、現職教員や社会人であれば、ご自身の職場での勤務時間を当てはめて、単位を取得することも可能です。

修了要件

2年以上在学し、所定の単位を30単位以上修得した上で、学位論文に関する最終試験に合格すること、または特定の課題についての研究の成果^{*1}（以下、課題研究）に関する最終試験に合格することが修了要件です。

このプログラムの大きな特徴は、学位論文ではなく特定の課題研究でも修了が可能となっている点です。社会人にとっては、仕事と両立させる可能性がさらに広がります。

* 1 特定の課題についての研究の成果とは、事例報告、フィールドワークによる実態調査、授業実践報告などを指します。

このプログラムを選択する場合は、本学の指導教員と相談の上、志願票に記載されている希望分野に☑してください。希望しない場合は、希望しないに☑してください。

博士前期課程 昼夜開講制

本学大学院では、リカレント教育を推進するために、2022年度から昼夜開講制を導入しました。本学で学びたい、研究したい、キャリアアップさせたいと考えている全国の入学希望の皆さんに対して、安心して学んでいただけるシステムとなっています。入学後は、昼間開講科目は対面授業、夜間開講科目は遠隔授業（オンライン）で行います。社会人や関西圏以外に居住されている方は、職場や自宅で遠隔授業（オンライン）を受講することができますので、通学や仕事との両立など、受講環境の問題で大学院進学をあきらめていた方々に寄り添ったシステムです。

昼夜開講制を導入することで、全国の入学希望者に門戸を広げることになり、さらにはスポーツ科学領域で社会貢献ができるのではないかと考えています。

〔履修方法〕

履修登録は、入学後Webで行っていただきます。授業開始までに、昼間開講または夜間開講を履修者の状況を確認しながら決定する必要があることから、登録期間は4～5日間となり、大変短くなっています。また、社会人に限らずどの学生も、昼間および夜間開講科目を受講することができます。

〔時間割〕

- ◎平日（月～金）1時限から5時限を昼間開講、平日（月～金）6限目から7限目および土曜日を夜間開講とします。
- ◎夜間開講科目は同時に昼間開講にも配置します。夜間開講に履修者がひとり以上いれば、夜間で開講します。反対に、夜間開講に履修者がおらず、昼間開講のみに履修者がいれば、昼間で開講します。
- ◎時間割は、年度末に次年度および次々年度の2年分を提示しますので、2年間の授業計画が立てやすくなります。

※昼夜開講制リーフレットもご参照ください。

大阪体育大学大学院博士後期課程 研究奨学生募集要項

下記の研究業績表に従って、研究業績調書を作成し、大学院研究奨学生申請願およびその他必要な出願書類とともに提出すること

※研究奨学生の選考には、申請者の経済状況を考慮することがある。

記

- ・業績は、出願当該年度およびその前年度中に発行・発表したものについて記載する。当該期間中にアクセプトされ、発表または掲載が確実である業績についても記載可能とする（発表または掲載の時期は問わない）。
- ・記載された論文等の資料は全て提出すること（コピー可）。アクセプトによるものは、初稿または発表がアクセプトされたことが証明できる資料を提出すること。学会発表は、学会プログラム（日程および発表者氏名が掲載されたページ）のコピー、抄録を提出すること
- ・査読審査の有無について、各々記載すること。有と記載した場合は、査読審査が行われることについて記載されている規程、要項またはホームページの記載部分を添付すること。有と記載していても、これらの提出がなかった場合は、査読審査が無いものとして取り扱う。
- ・不正が発覚した場合は、受給金を返還すること

区分	点数(主)	点数(主以外)	該 当 す る 業 績
S	50	4	学術雑誌に掲載された論文：審査のある原著論文・総説論文など (原著論文・総説論文など以外は区分Aに含めること) 著書・翻訳書など ※区分Sの学術雑誌の例：体育学研究、体力科学
A	20	2	学術雑誌に掲載された区分S以外の論文：審査のある原著論文・総説論文など (原著論文・総説論文など以外は区分Bに含めること) 大学紀要などに掲載された論文など：原著論文など ※区分Aの学術雑誌の例：大阪体育学研究など
B	10	1	大学紀要などに掲載された区分A以外の論文（資料論文、事例報告など） 学会大会の発表（審査のあるもの、但し国際学会は審査の有無を問わない）
C	5	0	公機関（行政・各種連盟・体協など）が発行する研究報告書 テキストやハンドブックなど 研究分野の雑誌（普及誌）に掲載された報告書など 学会大会の発表（審査のないもの）
D	1	0	私製の講義用テキストなど 区分C以外の報告書など 機関誌など

※点数の「主」は筆頭著者の意

- ・提出する前に正しく分類されているか指導教員の確認を受け、署名を受けること
- ・提出された業績の内容は学生委員会が最終的に判断し、「研究業績調書の評価についての申し合わせ」に基づき審査を行う。

※研究奨学生には、奨学金(月額5万円)が原則として3年間継続して支給されるが、学生委員会への研究活動の年次報告（次年度の奨学金受給継続理由等も記入すること）の提出が義務付けられており、研究の進捗状況によっては奨学金支給が停止となる場合もある。

博士前期課程

博士後期課程

学 内 選 抜 募 集 要 項

学内選抜 募集要項

博士前期課程

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程では、総合的な視点からスポーツ現象を分析し評価できる高度なスポーツ科学の知識をもった高度専門職業人と研究者を育成するために、スポーツ科学の諸側面とそれらをめぐる諸問題を多角的に研究しようと意欲のある学生の大学院への進学を早い段階で決定し、大学院での研究活動の準備を行うことを目的とし学内選抜を行う。

1. 募集人員

p. 3 募集人員を参照

2. 出願資格

- (1) 大阪体育大学の学部を2026年3月31日までに卒業見込みの者
 - (2) 本学大学院博士前期課程において指導を担当する教員が推薦する者
- ※外国人の場合は、日本語能力試験N2以上が認定されている者

博士後期課程

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

博士後期課程では、社会の多様なニーズに応えるために、高度な専門的知識に裏打ちされた斬新な研究を行う人材を育成するために、高度で独創的な研究を行い、優秀な博士論文を執筆し、博士号を取得することに意欲ある博士前期課程の学生の博士後期課程への進学を早い段階で決定し、研究活動の準備を行うことを目的とし学内選抜を行う。

1. 募集人員

p. 3 募集人員を参照

2. 出願資格

- (1) 大阪体育大学大学院博士前期課程を2026年3月31日までに修了見込みであり、修士の学位を取得見込みである者
 - (2) 本学大学院博士後期課程において指導を担当する教員が推薦する者
- ※外国人の場合は、日本語能力試験N1が認定されている者

3. 入 試 日 程（博士前期・後期課程）

出 願 期 間	試 験 日 ・ 会 場	合 格 発 表
2025年 6 月19日(木) ↓ 2025年 6 月27日(金) (郵送の場合は必着)	2025年 7 月 7 日(月) 大阪体育大学	2025年 7 月18日(金) 発送

※合格発表は、電話による照会には応じない

4. 出願書類

• 博士前期課程出願書類

- (1) 入学志願書
 - ・ 志 願 票
 - ・ 写 真 票
 - ・ 払込金受領証
 - ・ 受 験 票
- (2) 成績証明書 大阪体育大学が作成したもの〈1部〉
- (3) 卒業見込証明書 大阪体育大学が作成したもの〈1部〉
- (4) 研究希望等調査書（書式－1）
- (5) 推薦書 本学大学院博士前期課程における指導教員が作成し厳封したもの（書式－2）
- (6) 研究奨学生応募書類（大学院研究奨学生申請願） ※研究奨学生応募者のみ

※外国人は、日本語能力試験N2以上の認定を証明できる資料、パスポートおよび在留カード（持っている者のみ）の写し（氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格、在留期間が記載されているページ）を提出すること

• 博士後期課程出願書類

- (1) 入学志願書
 - ・ 志 願 票
 - ・ 写 真 票
 - ・ 払込金受領証
 - ・ 受 験 票
- (2) 成績証明書 本学大学院が作成したもの〈1部〉
- (3) 修了見込証明書 本学大学院が作成したもの〈1部〉
- (4) 研究計画等調査書（表紙に書式－3を使用）研究計画書を作成し添付すること
研究業績の欄には、論文等の名称、発表雑誌または発表学会、発行または発表年月を記入し、論文の写し、あるいは、学会の発表資料または抄録の写し等を添付すること
- (5) 推薦書 本学大学院博士後期課程における指導教員が作成し厳封したもの（書式－4）

- (6) 研究奨学生募集応募書類 (p.14研究奨学生募集要項参照)

応募書類のうち、(4)に添付の論文の写し等と同一のものは省略可

※外国人は、日本語能力試験N1の認定を証明できる資料、パスポートおよび在留カード(持っている者のみ)の写し(氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留期間が記載されているページ)を提出すること

5. 試験実施概要

出願書類及び口述試験により評価し、選考する

- (1)・博士後期課程：試験科目・時間割

試 験 科 目	時 間 割
口 述 試 験：研究計画およびこれまでの研究成果等についての口頭試問	16：30～（予定）

- ・博士前期課程：試験科目・時間割

試 験 科 目	時 間 割
口 述 試 験：研究の抱負等についての口頭試問	博士後期課程 口述試験終了後～

- (2) 注 意

試験当日は、試験開始時刻の20分前までに試験場（控え室）に集合すること

6. 入 学 手 続（博士前期・後期課程）

- (1) 合格者には入学手続書類を合格通知とともに送付する
- (2) 入学手続期間 2025年8月19日(火)まで
- (3) 入学手続期間内に所定の手続を完了しない場合は、入学を許可しない
- (4) やむを得ない理由により入学辞退を文書で申し出た者に対しては、納付金を返還する
入学辞退は2026年3月23日(月)までとする（必着）

博士前期課程

一般選抜・スポーツ選抜
社会人選抜・外国人選抜

募 集 要 項

一般選抜 募集要項

1. 募集人員

p. 3 募集人員を参照

2. 出願資格

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 前号と同等以上の学力があると認められる者として文部科学大臣の指定した者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者
- (8) 上記(1)～(7)の内、ひとつの資格を2026年3月31日までに取得見込みの者
※外国人の場合は、日本語能力試験N2以上が認定されている者

スポーツ選抜 募集要項

1. 募集人員

P3.募集人員を参照

2. 出願資格

下記(1)～(8)の内、ひとつの資格に該当し、スポーツ競技において特に優れた競技歴または指導実績(※1)を有するとともに入学後も競技または指導を継続する意志のある者であつて、出願資格審査において『スポーツ選抜試験』への出願が認められた者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 前号と同等以上の学力があると認められる者として文部科学大臣の指定した者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 大学に3年以上在学し、又外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者
- (8) 上記(1)～(7)の内、ひとつの資格を2026年3月31日までに取得見込みの者

※外国人の場合は、日本語能力試験N2以上が認定されている者

※1. 特に優れた競技歴または指導実績とは下記①～⑤のうち、何れかに該当する者

- ① 国際的競技大会（オリンピック、パラリンピック、世界選手権、アジア大会、ユニバーシアード他、これに相当する大会）に国を代表する選手として登録された者、またはその大会で指導者として登録された者
- ② 日本の全国規模の大会（日本選手権、全日本学生選手権、国民スポーツ大会他）、または母国のこれに相当する競技会に出場した者（正選手として出場した者）またはその者を当該大会で指導した者（指導者として登録された者）
- ③ 日本または母国で、プロのスポーツチームまたは実業団に所属していた者、プロライセンスを持つ者、または指導者として登録された者。
- ④ 上記①②③の競技レベルに相当とする者と本学大学院において認められた者
- ⑤ 上記①②③の競技レベルに相当する指導実績がある者と本学大学院において認められた者

社会人選抜 募集要項

1. 募 集 人 員

p. 3 募集人員を参照

2. 出 願 資 格

社会人選抜は、大学院における社会人の再教育に対する社会的要請に応えることを目的としており、出願資格は以下の通りとする

※ 社会人は、官公庁、一般企業等の勤務経験（同一法人・事業所における在職歴が1年以上）があり、この事実が証明される者とする

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 前号と同等以上の学力があると認められる者として文部科学大臣の指定した者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 大学に3年以上在学し、又外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者
- (8) 上記(1)～(7)の内、ひとつの資格を2026年3月31日までに取得見込みの者

※外国人の場合は、日本語能力試験N2以上が認定されている者

外国人選抜 募集要項

1. 募 集 人 員

p. 3 募集人員を参照

2. 出 願 資 格

外国人選抜は、大学院の国際化に対する社会的要請に応えることを目的としており、出願資格は以下の通りとする

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 前号と同等以上の学力があると認められる者として文部科学大臣の指定した者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 大学に3年以上在学し、又外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者
- (8) 上記(1)～(7)の内、ひとつの資格を2026年3月31日までに取得見込みの者

※外国人は、日本語能力試験N2以上が認定されている者

3. 出願資格審査 ※各選抜共通

選抜又は出願資格によっては出願資格の有無を判定するために出願に先立ち出願資格審査を行う（出願資格審査は入学選抜試験ではないので注意すること）

各選抜の出願資格(3)、(6)、(7)により出願を希望する者及びスポーツ選抜・社会人選抜・外国人選抜で出願を希望する者は、出願期間に先立ち、次のとおり出願資格審査書類を提出すること

1) 出願資格審査書類提出期間

【A日程出願予定者】

書 類 提 出 期 間	出願資格審査結果の通知
2025年7月25日(金)～2025年8月5日(火) (郵送の場合は必着)	2025年8月20日(水) 発送

【B日程出願予定者】

書 類 提 出 期 間	出願資格審査結果の通知
2025年11月25日(火)～2025年12月5日(金) (郵送の場合は必着)	2025年12月15日(月) 発送

2) 出願資格審査書類の提出

出願資格審査書類は、提出期間内に本学教学部大学院事務室担当まで持参または郵送すること

(1) 持参する場合の受付時間は、以下のとおりとする

月曜日～金曜日：9：00～17：00

※土・日・祝日は受け付けない

(2) 郵送の場合は「レターパックプラス」とし、封筒表面に「スポーツ科学研究科出願資格審査申請書在中」と朱書すること

送付先：〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1

大阪体育大学 教学部 大学院事務室担当 宛

(3) 海外から出願を予定する者は、留学ビザ取得に必要な在留資格認定証明書が発行されるまでに所定の時間がかかるので、A日程で受験することを推奨する。B日程で受験する場合は、4月1日までに入国できない可能性があるので注意すること

3) 出願資格審査提出書類

・『一般選抜』出願資格審査提出書類

(1) 出願資格(3)により出願を希望する者は、以下の書類を提出すること

- ① 一般選抜試験出願資格審査申請書（書式－5）
- ② 一般選抜試験出願資格審査調査書（書式－6）
- ③ 最終学歴証明書

- ④ 最終学歴の成績証明書またはこれに準じるもの
- ⑤ 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの

(2) 出願資格(6)により出願を希望する者は、以下の書類を提出すること

- ① 一般選抜試験出願資格審査申請書（書式－５）
- ② 一般選抜試験出願資格審査調査書（書式－６）
- ③ 成績証明書または単位修得見込証明書
- ④ 指導教員またはこれに準ずる者の推薦書（任意提出）
（当該志願者が特に優秀であることを示す具体的な事実を記載したもの）
- ⑤ 在学する大学・学部の履修基準、授業科目一覧表等
- ⑥ 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの

(3) 出願資格(7)により出願を希望する者は、以下の書類を提出すること

- ① 一般選抜試験出願資格審査申請書（書式－５）
- ② 一般選抜試験出願資格審査調査書（書式－６）
- ③ 最終学歴証明書
- ④ 最終学歴の成績証明書またはこれに準じるもの
- ⑤ 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの

※外国人は、日本語能力試験N2以上の認定を証明できる資料、パスポートおよび在留カード（持っている者のみ）の写し（氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格、在留期間が記載されているページ）を提出すること

・『スポーツ選抜』出願資格審査提出書類

(1) 『スポーツ選抜試験』全出願者

- ① 出願資格審査申請書（書式－７）
- ② スポーツ選抜試験出願資格審査調査書（書式－８）
- ③ 競技歴または指導等実績の成績を証明する資料（例：表彰状・新聞・雑誌記事等の写しで、氏名の確認ができるもの）
- ④ 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの

(2) 出願資格(3)に該当する者は、以下の書類も併せて提出すること

- ① 最終学歴証明書
- ② 最終学歴の成績証明書またはこれに準じるもの

(3) 出願資格(6)に該当する者は、以下の書類も併せて提出すること

- ① 成績証明書または単位修得見込証明書

- ② 指導教員またはこれに準じる者の推薦書（任意提出）
（当該志願者が特に優秀であることを示す具体的な事実を記載したもの）
- ③ 在学する大学・学部の履修基準、授業科目一覧表等

(4) 出願資格(7)に該当する者は、以下の書類も併せて提出すること

- ① 最終学歴証明書
- ② 最終学歴の成績証明書またはこれに準じるもの

※外国人は、日本語能力試験N2以上の認定を証明できる資料、パスポートおよび在留カード（持っている者のみ）の写し（氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格、在留期間が記載されているページ）を提出すること

・『社会人選抜』出願資格審査提出書類

(1) 『社会人選抜試験』全出願者

- ① 出願資格審査申請書（書式－7）
- ② 社会人選抜試験出願資格審査調査書（書式－9）
- ③ 職歴・職務内容調査書（書式－10）
- ④ 在職証明書（書式－11）
※社印またはそれに準ずるもので押印すること
- ⑤ 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの

(2) 出願資格(3)に該当する者は、以下の書類も併せて提出すること

- ① 最終学歴証明書
- ② 最終学歴の成績証明書またはこれに準じるもの

(3) 出願資格(6)に該当する者は、以下の書類も併せて提出すること

- ① 成績証明書または単位修得見込証明書
- ② 指導教員またはこれに準じる者の推薦書（任意提出）
（当該志願者が特に優秀であることを示す具体的な事実を記載したもの）
- ③ 在学する大学・学部の履修基準、授業科目一覧表等

(4) 出願資格(7)に該当する者は、以下の書類も併せて提出すること

- ① 最終学歴証明書
- ② 最終学歴の成績証明書またはこれに準じるもの

※外国人は、日本語能力試験N2以上の認定を証明できる資料、パスポートおよび在留カード（持っている者のみ）の写し（氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格、在留期間が記載されているページ）を提出すること

格、在留期間が記載されているページ)を提出すること

- 『外国人選抜』出願資格審査提出書類

- (1) 『外国人選抜試験』全出願者

- ① 出願資格審査申請書(書式-7)
 - ② 外国人選抜試験出願資格審査調査書(書式-12)
小学校入学～大学卒業まで、年月と学校名をすべて記入すること
 - ③ パスポートおよび在留カード(持っている者のみ)の写し(氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格、在留期間が記載されているページ)
 - ④ 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの
 - ⑤ 日本語能力試験N2以上の認定を証明できる資料

- (2) 出願資格(3)に該当する者は、以下の書類も併せて提出すること

- ① 最終学歴証明書
 - ② 最終学歴の成績証明書またはこれに準じるもの

- (3) 出願資格(6)に該当する者は、以下の書類も併せて提出すること

- ① 成績証明書または単位修得見込証明書
 - ② 指導教員またはこれに準じる者の推薦書(任意提出)
(当該志願者が特に優秀であることを示す具体的な事実を記載したもの)
 - ③ 在学する大学・学部の履修基準、授業科目一覧表等

- (4) 出願資格(7)に該当する者は、以下の書類も併せて提出すること

- ① 最終学歴証明書
 - ② 最終学歴の成績証明書またはこれに準じるもの

4. 出願日程 ※各選抜共通

【A日程】

出 願 期 間	試 験 日 ・ 会 場	合 格 発 表
2025年 8 月25日(月) ↓ 2025年 9 月 5 日(金) (郵送の場合は必着)	2025年 9 月20日(土) 大阪体育大学	2025年 9 月29日(月) 発送

【B日程】

出 願 期 間	試 験 日 ・ 会 場	合 格 発 表
2026年 1 月13日(火) ↓ 2026年 1 月26日(月) (郵送の場合は必着)	2026年 2 月 7 日(土) 大阪体育大学	2026年 2 月18日(水) 発送

※ 合格発表は、電話による照会には応じない

5. 出願書類

・『一般選抜』出願書類

- ※ 1. 出願資格審査で提出している書類は省略可（内諾書を含む）
- ※ 2. 出願資格(3)、(6)、(7)に該当せず出願資格審査書類を提出していない外国人は、日本語能力試験N2以上の認定を証明できる資料、パスポートおよび在留カード（持っている者のみ）の写し（氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格、在留期間が記載されているページ）を提出すること

(1) 入学志願書

- ・ 志 願 票
- ・ 写 真 票
- ・ 払込金受領証
- ・ 受 験 票

(2) 成績証明書 出身大学が作成し厳封したもの〈1部〉

(3) 卒業（見込）証明書 出身大学が作成したもの〈1部〉

(4) 研究希望等調査書（書式－13）

(5) 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの

(6) 一般選抜試験出願資格認定通知書（本学スポーツ科学研究科長が発行したもの）

※出願資格(3)、(6)、(7)の該当者のみ

(7) 研究奨学生応募書類（大学院研究奨学生申請願） ※研究奨学生応募者のみ

• 『スポーツ選抜』 出願書類

※ 1. 出願資格審査で提出している書類は省略可

(1) 入学志願書

- ・ 志 願 票
- ・ 写 真 票
- ・ 払込金受領証
- ・ 受 験 票

(2) 成績証明書 出身大学が作成し厳封したもの〈1部〉

(3) 卒業（見込）証明書 出身大学が作成したもの〈1部〉

(4) 研究希望等調査書（書式－13）

(5) 推 薦 書（勤務先所属長または大学在学時の指導教員の推薦書）（任意提出）

(6) スポーツ歴・スポーツ指導歴調査書（書式－14）

(7) 競技歴または指導実績のうち最も優れた成績を証明する資料（例：表彰状・新聞・雑誌記事等の写しで、氏名の確認ができるもの）

(8) スポーツ選抜試験出願資格認定通知書（本学スポーツ科学研究科長が発行したもの）

(9) 研究奨学生応募書類（大学院研究奨学生申請願） ※研究奨学生応募者のみ

• 『社会人選抜』 出願書類

※ 1. 出願資格審査で提出している書類は省略可

(1) 入学志願書

- ・ 志 願 票
- ・ 写 真 票
- ・ 払込金受領証
- ・ 受 験 票

(2) 成績証明書 出身大学が作成し厳封したもの〈1部〉

(3) 卒業（見込）証明書 出身大学が作成したもの〈1部〉

(4) 研究希望等調査書（書式－13）

(5) 推 薦 書（勤務先所属長または大学在学時の指導教員の推薦書）（任意提出）

(6) 社会人選抜試験出願資格認定通知書（本学スポーツ科学研究科長が発行したもの）

(7) 研究奨学生応募書類（大学院研究奨学生申請願） ※研究奨学生応募者のみ

• 『外国人選抜』出願書類

※ 1. 出願資格審査で提出している書類は省略可

(1) 入学志願書

- ・ 志 願 票
- ・ 写 真 票
- ・ 払込金受領証
- ・ 受 験 票

(2) 成績証明書 出身大学が作成し厳封したもの〈1部〉

(3) 卒業（見込）証明書 出身大学が作成したもの〈1部〉

(4) 研究希望等調査書（書式-13）

(5) 推 薦 書（勤務先所属長または大学在学時の指導教員の推薦書）（任意提出）

(6) 外国人選抜試験出願資格認定通知書（本学スポーツ科学研究科長が発行したもの）

(7) 研究奨学生応募書類（大学院研究奨学生申請願） ※研究奨学生応募者のみ

6. 試験実施概要 ※各選抜共通

出願書類及び学力試験（語学試験・論述試験・口述試験）の成績を総合的に評価し、選考する

(1) 試験科目・時間割

試 験 科 目	時 間 割
〈一般選抜のみ〉 (1) 語 学 試 験：英 語 スポーツ科学の研究に要する基礎的な英語力を問う問題1題 英和・和英辞書持込可、医学等専門用語辞書・電子辞書は使用不可	10：00～10：50
〈一般選抜・スポーツ選抜・社会人選抜・外国人選抜〉 (2) 論 述 試 験：スポーツ科学に関する基礎的な素養を問う問題1題	11：20～12：10
(3) 口 述 試 験：研究計画等についての口頭試問	13：30～

(2) 注 意

- ① 試験当日は、試験開始時刻の20分前までに試験場に集合すること
- ② 試験場では、受験番号と同じ番号の席に着き、受験票は机の上に置くこと

7. 入 学 手 続

(1) 合格者には入学手続書類を合格通知とともに送付する

(2) 入学手続期間

A 日 程	2025年10月20日(月)まで
B 日 程	2026年 3 月 9 日(月)まで

(3) 入学手続期間内に所定の手続を完了しない場合は、入学を許可しない

(4) やむを得ない理由により入学辞退を文書で申し出た者に対しては、入学金を除いた納付金を返還する

入学辞退は2026年 3 月23日(月)までとする（必着）

博士後期課程

一 般 選 拔

募 集 要 項

博士後期課程 募集要項

一般選抜（語学・口述試験）

1. 募集人員

p. 3 募集人員を参照

2. 出願資格

- (1) 修士の学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）※
※ 大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、研究業績等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (4) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達した者
- (5) 上記(1)～(4)の内、ひとつの資格を2026年3月31日までに取得見込みの者
※外国人の場合は、日本語能力試験N1が認定されている者

一般選抜（プレゼンテーション）

※この選抜は、外国人に限らず英語力に自信があればどなたでも受験していただけます。

1. 募集人員

p. 3 募集人員を参照

2. 出願資格

- (1) 修士の学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）※
※大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、研究業績等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (4) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達した者
- (5) 上記(1)～(4)の内、ひとつの資格を2026年3月31日までに取得見込みの者
※外国人は、日本語能力試験N1が認定されている者

3. 出願資格審査 一般選抜（語学・口述試験／プレゼンテーション）

出願資格(3)、(4)により出願を希望する者は、出願期間に先立ち、次のとおり出願資格審査書類を提出すること

1) 出願資格審査書類提出期間

【A日程出願予定者】

書 類 提 出 期 間	出願資格審査結果の通知
2025年7月25日(金)～2025年8月5日(火) (郵送の場合は必着)	2025年8月20日(水) 発送

【B日程出願予定者】

書 類 提 出 期 間	出願資格審査結果の通知
2025年11月25日(火)～2025年12月5日(金) (郵送の場合は必着)	2025年12月15日(月) 発送

2) 出願資格審査書類の提出

出願資格審査書類は、提出期間内に本学教学部大学院事務室担当まで持参または郵送すること

(1) 持参する場合の受付時間は、以下のとおりとする

月曜日～金曜日：9：00～17：00

※土・日・祝日は受け付けない

(2) 郵送の場合、日本から発送する場合は「レターパックプラス」とすること

外国から発送する場合は「国際スピード郵便（EMS）」のような追跡できる郵送方法とすること

封筒表面に「スポーツ科学研究科出願資格審査申請書在中」と朱書きすること

送付先：〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1

大阪体育大学 教学部 大学院事務室担当 宛

(3) 海外から出願を予定する者は、留学ビザ取得に必要な在留資格認定証明書が発行されるまでに所定の時間がかかるので、A日程で受験することを推奨する。B日程で受験する場合は、4月1日までに入国できない可能性があるので注意すること

3) 出願資格審査提出書類

• 一般選抜（語学・口述試験）提出書類

① 出願資格審査申請書（書式-15）

② 出願資格審査調査書（書式-16）

③ 研究業績調書（書式-17）現在までの研究業績の概要

④ 研究業績調書に関する説明資料

（研究論文等がある場合には、そのリスト及び論文別刷りを添付すること）

- ⑤ 最終学歴証明書
- ⑥ 最終学歴の成績証明書またはこれに準じるもの
- ⑦ 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの

※外国人は、日本語能力試験N1の認定を証明できる資料、パスポートおよび在留カード（持っている者のみ）の写し（氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格、在留期間が記載されているページ）を提出すること

・一般選抜（プレゼンテーション）提出書類

※この選抜は、外国人に限らず英語力に自信があればどなたでも受験していただけます。

- ① 出願資格審査申請書（書式－15）
- ② 出願資格審査調査書（書式－16）
- ③ 研究業績調書（書式－17） 現在までの研究業績の概要
- ④ 研究業績調書に関する説明資料（研究論文等がある場合には、そのリスト及び論文別刷りを添付すること）
- ⑤ 最終学歴証明書（出身大学・大学院が作成したもの）（コピー不可）〈1部〉
- ⑥ 最終学歴の成績証明書（出身大学・大学院が作成したもの）、またはこれに準じるもの（コピー不可）〈1部〉
- ⑦ 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの

※外国人は、日本語能力試験N1の認定を証明できる資料、パスポートおよび在留カード（持っている者のみ）の写し（氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格、在留期間が記載されているページ）を提出すること

4. 試験日程 一般選抜（語学・口述試験／プレゼンテーション）

【A日程】

出 願 期 間	試 験 日 ・ 会 場	合 格 発 表
2025年8月25日(月) ↓ 2025年9月5日(金) (郵送の場合は必着)	2025年9月20日(土) 大阪体育大学	2025年9月29日(月) 発送

【B日程】

出 願 期 間	試 験 日 ・ 会 場	合 格 発 表
2026年1月13日(火) ↓ 2026年1月26日(月) (郵送の場合は必着)	2026年2月7日(土) 大阪体育大学	2026年2月18日(水) 発送

5. 出願書類 一般選抜（語学試験・口述試験／プレゼンテーション）

- ・『一般選抜（語学・口述試験）』出願書類

※ 1. 出願資格審査で提出している書類は省略可（内諾書を含む）

※ 2. 出願資格(3)、(4)に該当せず出願資格審査書類を提出していない外国人は、日本語能力試験N1の認定を証明できる資料、パスポートおよび在留カード（持っている者のみ）の写し（氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格、在留期間が記載されているページ）を提出すること

(1) 入学志願書

- ・ 志 願 票
- ・ 写 真 票
- ・ 払込金受領証
- ・ 受 験 票

(2) 研究計画等調査書（表紙に書式－18を使用）

研究計画書を作成し添付すること

(3) 成績証明書 出身大学・大学院が作成し厳封したもの〈1部〉

(4) 修士論文等写（表紙に書式－19を使用）

ア. 修士論文またはこれに相当する論文の写し 1部

（修士課程修了見込みの者は、修士論文として予定している論文）

（修士論文をまだ完成させていない場合は、イ. のみの提出で可とするが、完成後は速やかに提出すること）

イ. 上記の論文の概要

（A4判の用紙（横書）を使用し、パソコン等により、和文2000字程度又は、英文1000語程度）

(5) 修了（見込）証明書 出身大学・大学院が作成したもの〈1部〉

(6) 推薦書等参考になる資料があれば添付すること（任意提出）

(7) 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの

(8) 出願資格認定通知書（本学スポーツ科学研究科長が発行したもの）

※出願資格(3)、(4)の該当者のみ

(9) 研究奨学生応募書類（p.14研究奨学生募集要項参照） ※研究奨学生応募者のみ

・『一般選抜（プレゼンテーション）』出願書類

※ 1. 出願資格審査で提出している書類は省略可（内諾書を含む）

※ 2. 出願資格(3)、(4)に該当せず出願資格審査書類を提出していない外国人は、日本語能力試験N1の認定を証明できる資料、パスポートおよび在留カード（持っている者のみ）の写し（氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格、在留期間が記載されているページ）を提出すること

(1) 入学志願書

- ・ 志 願 票
- ・ 写 真 票
- ・ 払込金受領証
- ・ 受 験 票

(2) 研究計画等調査書（表紙に書式－18を使用）

研究計画書を作成し添付すること

(3) 成績証明書 出身大学・大学院が作成したもの（コピー不可）〈1部〉

(4) 修士論文等（表紙に書式－19を使用）

- ・ 修士論文またはこれに相当する論文の写し 〈1部〉
（修士課程修了見込みの者は、修士論文として予定している論文）
- ・ 上記論文の概要
（A4版の用紙（横書）を使用し、パソコン等により、英文1000字程度）

(5) 修了（見込）証明書 出身大学・大学院が作成したもの（コピー不可）〈1部〉

(6) 内諾書 大学院における指導教員が作成したもの

(7) 出願資格認定通知書 出願資格(3)、(4)の該当者のみ

(8) 研究奨学生応募書類（p.14研究奨学生募集要項参照）

＊研究奨学生応募者のみ

6. 試験実施概要 一般選抜（語学・口述試験／プレゼンテーション）

• 一般選抜（語学・口述試験）

出願書類及び語学試験・口述試験の成績を総合的に評価し、選考する

(1) 試験科目・時間割

試 験 科 目	時 間 割
(1) 語 学 試 験：英 語（3問題から2問題選択） 英和・和英辞書持込可、医学等専門用語辞書・電子辞書は使用不可	9：10～10：40
(2) 口 述 試 験：研究計画等についての口頭試問	11：00～

(2) 注意

- ①試験当日は、試験開始時刻の20分前までに試験場に集合すること
- ②試験場では、受験番号と同じ番号の席に着き、受験票は机の上に置くこと

• 一般選抜（プレゼンテーション）

研究計画書他出願書類及びプレゼンテーションを総合的に評価し、選考する

(1) 時間割

英語によるプレゼンテーション	9：10～
----------------	-------

(2) 注意

- ①試験当日は、試験開始時刻の20分前までに試験場控室に集合すること
- ②プレゼンテーションは8分間で行い、その後、質疑応答を行う
- ③プレゼンテーション用資料はパワーポイントで事前に作成し、当日は、その資料を使ってプレゼンテーションすること

7. 入 学 手 続

(1) 合格者には入学手続書類を合格通知とともに送付する

(2) 入学手続期間

A 日 程	2025年10月20日(月)まで
B 日 程	2026年3月9日(月)まで

(3) 入学手続期間内に所定の手続を完了しない場合は、入学を許可しない

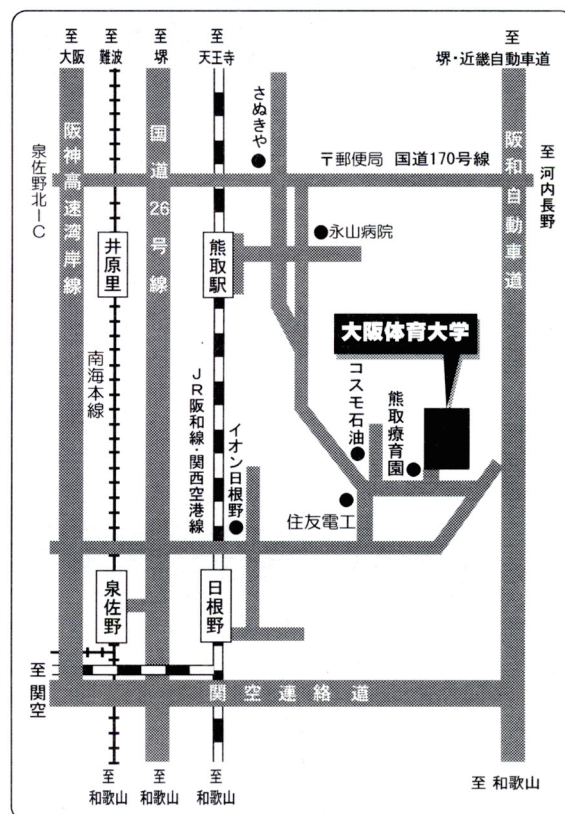
(4) やむを得ない理由により入学辞退を文書で申し出た者に対しては、入学金を除いた納付金を返還する

入学辞退は2026年3月23日(月)までとする（必着）

交通の案内



試験会場周辺図



■ 交通機関

- (1) 天王寺 $\xrightarrow[\text{(快速で約35分)}]{\text{JR阪和線・関西空港線}}$ 熊取 $\xrightarrow[\text{(約15分)}]{\text{南海ウイングバス}}$ 大阪体育大学
- (2) 難波 $\xrightarrow[\text{(急行で約35分)}]{\text{南海本線}}$ 泉佐野 $\xrightarrow[\text{(約30分)}]{\text{南海ウイングバス}}$ 大阪体育大学
- (3) 南海ウイングバス
- 熊取駅前より「大阪体育大学前行」にて約15分
 - 泉佐野駅前より「大阪体育大学前行」にて約30分(JR 熊取駅経由)

博士前期課程

博士後期課程

内 諾 書

(本学ホームページよりダウンロードできます)

※志願者から希望する指導教員にコンタクトをとり、受け入れ
指導教員により作成されたものを提出すること

※記入不要

受験番号

年 月 日

内 諾 書

大阪体育大学大学院
スポーツ科学研究科長 殿

以下の者が、大学院スポーツ科学研究科入学試験に合格し入学が許可された
際には、受入れを承諾します。

課 程	
学 問 分 野	
志願者氏名	
生 年 月 日	

大学院スポーツ科学研究科
指導教員名

博士前期課程

博士後期課程

入学志願書

(本学ホームページよりダウンロードできます)

個人情報の取り扱いについて

大阪体育大学大学院では『個人情報保護法』に基づき、個人情報とその取り扱いについて法令の定めに従い個人情報保護に万全を尽くします

出願書類等により提出いただいた志願者の個人情報は、本学大学院での入学試験判定・手続資料としてのみ利用いたします

他の使用目的のためへの情報利用、他部署等への情報提供はいたしません

2026年度

志 願 票

大阪体育大学大学院
スポーツ科学研究科
スポーツ科学専攻

博士前期課程	学内選抜
	一般選抜
	スポーツ選抜
	社会人選抜
	外国人選抜
博士後期課程	学内選抜
	一般選抜
	一般選抜(プレゼンテーション)

(該当する試験区分に○をつけること)

※受験
番号

※志望学問分野			
※志望研究領域			
※p. 6 研究領域(5)・学問分野(11) 参照			
ふりがな			性 別
氏 名			男 ・ 女
生年月日	年 月 日	年 齢	
		歳	
現 住 所	〒 - 電 話 () 携 帯 () E-mail :		
出身大学等	専門学校 学科 大学 学部 学科 大学院 研究科 専攻 年 月 卒業 ・ 卒業見込 修了 ・ 修了見込		
※緊急連絡先	氏 名		
	住 所	〒 -	
		電 話 ()	

※緊急連絡先には、入学試験中の不測の事態に備え、ご家族など日中に連絡のつく方を記入してください

【スポーツ科学実践プログラム】

博士前期課程において、入学後、スポーツ科学実践プログラムを選択される方は、希望する分野に☑を付けてください。希望しない場合は、希望しないに☑を付けてください。
(p. 10～p. 12を参照) ※指導教員の了解が必要です

☐	保健・体育科教育学分野	☐	スポーツマネジメント分野
☐	スポーツコーチング分野	☐	希望しない

【長期履修制度】どちらかに☑を付けてください。

長期履修制度 (p. 7～p. 9を参照)	☐ 申請する (申請書類一式を同封すること)	☐ 申請しない
--------------------------	--	--------------------------------

2026年度 写真票	※受験番号		博士前期課程	学内選抜
				一般選抜
				スポーツ選抜
				社会人選抜
				外国人選抜
博士後期課程	学内選抜			
	一般選抜			
	一般選抜(プレゼンテーション)			

(該当する試験区分に○をつけること)

スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻	
志望学問分野	
志望研究領域	
ふりがな	
氏名	
写真貼付欄	
1. 上半身・脱帽・正面向(縦4.5cm×横3.5cm) 2. 出願3ヶ月以内に撮影したもの 3. 裏面に氏名を記入して貼付すること	

※切り取り不要

2026年度 払込金 受領証	※受験番号		博士前期課程	学内選抜
				一般選抜
				スポーツ選抜
				社会人選抜
				外国人選抜
博士後期課程	学内選抜			
	一般選抜			
	一般選抜(プレゼンテーション)			

(該当する試験区分に○をつけること)

受領証貼付欄	
1. 受領書の上部にのりをつけてここに貼付すること 2. 受領印(日付印)の有無を確認すること 3. ATMで払込んだ場合は、明細書の貼付で構いません 4. 受領書または明細書が貼付されていない場合は、願書を受け付けません	
入学検定料	¥ 35, 000

※切り取り不要

《受験票等送付先》
受験票等(郵便物)を確実にお受け取りになるご住所とご氏名をご記入ください

〒	様
---	---

※出願書類等送付時に以下の太枠等を切り取ってお使いください

《出願書類等送付先》

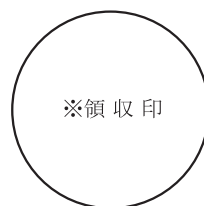
〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1番1号 大阪体育大学 教学部 大学院事務室担当 行
--

〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1番1号 大阪体育大学 教学部 大学院事務室担当 行
--

2026年度 受験票	※受験番号		博士前期課程	学内選抜
				一般選抜
				スポーツ選抜
				社会人選抜
				外国人選抜
博士後期課程	学内選抜			
	一般選抜			
	一般選抜(プレゼンテーション)			

(該当する試験区分に○をつけること)

スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻		
志望学問分野		
志望研究領域		
ふりがな		性別
氏名		男・女



※領収印

検定料 ¥ 35, 000
上記金額を領収しました

(注)

1. 本票に検定料領収印および受験番号がないものは、無効である
2. 本票は試験当日必ず持参し、受験中は必ず携帯すること
3. 領収印、受験番号は、大学院で記入、押印します
4. 切り取り不要

博士前期課程

博士後期課程

学 内 選 抜 出 願 書 類 所 定 用 紙

(本学ホームページよりダウンロードできます)

個人情報の取り扱いについて

大阪体育大学大学院では『個人情報保護法』に基づき、個人情報とその取り扱いについて法令の定めに従い個人情報保護に万全を尽くします

出願書類等により提出いただいた志願者の個人情報は、本学大学院での入学試験判定・手続資料としてのみ利用いたします

他の使用目的のためへの情報利用、他部署等への情報提供はいたしません

試験区分 学内選抜

研 究 希 望 等 調 査 書

博士前期課程

受験番号	※		大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科			
フリガナ			男・女	現住所	〒	
氏名						
生年月日	年 月 日生					
志望学問分野			指導教員名			GPA
志望研究領域						
1. 研究の抱負						
2. 卒業論文またはゼミ研究レポートのテーマ						
3. 学歴	年 月	学 校 名				
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
4. 体育・スポーツ活動	体育・スポーツに関する取得資格					
		種 目	活 動 内 容			
	高校					
	大学					

注1. ※印欄は記入しないこと

2. 裏面の【記入上の注意】を参照のこと

3. ダウンロードしたものを使用する際は、【記入上の注意】を裏面にし両面印刷すること

【記入上の注意】

(1) GPA

大阪体育大学の学部における入学時から出願する年の前年度までの成績の累積GPAを記入すること

(2) 研究の抱負

本学大学院入学後の研究の抱負について記入すること

(3) 学歴

(1) 高等学校以降の学歴について入学、転学または卒業を記入すること

(2) 大学については学部・学科まで記入すること

(4) 体育・スポーツ活動

学内および学外のスポーツ活動について記入すること

(5) その他

上記の各事項について所定の欄に記入しきれないときは、当該欄に「別紙に記入」と表示し、その事項を記入したものを添付すること

大阪体育大学大学院
スポーツ科学研究科

博士前期課程

試験区分

学内選抜

受験番号

※

推 薦 書

フリガナ
氏 名

男・女

生年月日

年 月 日生

〔推薦所見〕

年 月 日

職 名

氏 名

印

注1. ※印欄は記入しないこと

2. 推薦者は、大学院における指導教員であること

研究計画等調査書

(表 紙)

試験区分 学内選抜

フリガナ				受験番号	※
氏 名					
男・女	生 年 月 日		現住所	〒	
	年 月 日生				
志望学問分野				指導教員名	
志望研究領域					
修士論文名					
研究計画					
研究業績		年 月	論文等の名称、発表雑誌、又は発表学会等		
		年 月			
		年 月			
		年 月			
		年 月			
		年 月			
		年 月			
		年 月			
		年 月			
		年 月			

注1. ※印欄は記入しないこと

2. 裏面の【記入上の注意】を参照のこと

3. ダウンロードしたものを使用する際は、【記入上の注意】を裏面にし両面印刷すること

学 歴		
年	月	学校名(大学は学部・学科まで、大学院は研究科・専攻まで記入)
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
職 歴		
年	月	職歴があれば職名・職務内容なども記入すること
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
年	月	
特 記 事 項		

【記入上の注意】

1. 修士論文名
修士論文として予定している論文題目を記入すること
2. 研究計画
入学後の研究計画を記入すること
3. 研究業績
論文等の名称、発表雑誌又は発表学会、発行又は発表年月を記入し、論文の写し、あるいは学会の発表資料又は抄録の写し等を添付すること
4. 書式一3を表紙に使用し、次の要領で研究計画書を作成し添付すること
 - (1) 研究計画書には、①これまでの自己の研究との関連性、②先行研究との関連性における特色や独自性、③3年間の研究計画(方法を含む)、④教育実践との関連性についてそれぞれ項目を分けて記載すること
 - (2) A4判の用紙(横書)で、パソコン等により和文で2,000字程度または英文で1,000語程度にまとめること
5. 各事項について所定の欄に記入しきれないときは、当該欄に「別紙に記入」と表示し、その事項を記入したものを添付すること

大阪体育大学大学院
スポーツ科学研究科

博士後期課程

試験区分 学内選抜

受験番号
※

推薦書

フリガナ 氏名		男・女	生年月日	年 月 日生
〔推薦所見〕				
年 月 日				
職 名				
氏 名				
印				

注1. ※印欄は記入しないこと
2. 推薦者は、大学院における指導教員であること

博士前期課程

A 日程・B 日程入試

出 願 書 類

所 定 用 紙

(本学ホームページよりダウンロードできます)

個人情報の取り扱いについて

大阪体育大学大学院では『個人情報保護法』に基づき、個人情報とその取り扱いについて法令の定めに従い個人情報保護に万全を尽くします

出願書類等により提出いただいた志願者の個人情報は、本学大学院での入学試験判定・手続資料としてのみ利用いたします

他の使用目的のためへの情報利用、他部署等への情報提供はいたしません

博士前期課程 〔出願資格（3）・出願資格（6）・出願資格（7）〕 該当する出願資格を○で囲む

年 月 日

一般選抜試験出願資格審査申請書

大阪体育大学大学院

スポーツ科学研究科長 殿

フリガナ
氏 名

⑩

生 年 月 日 年 月 日 生

私は、貴大学大学院スポーツ科学研究科（博士前期課程）スポーツ科学専攻に入学することを希望するので、出願資格審査を申請いたします

一般選拔試験出願資格審査調査書

注意

上半身、脱帽、正面向きで、3ヶ月以内に撮影したもの

(4.5cm × 3.5cm)

フリガナ 氏 名		男・女	生年月日	年 月 日生 (歳)	
現住所	〒			連絡先	- -
学 歴					
年 月	事 項				
学会および社会における活動					
年 月	事 項				

志望学問分野		指導教員名	
志望研究領域			

注1. 裏面の【記入上の注意】を参照のこと

2. ダウンロードしたものを使用する際は、【記入上の注意】を裏面にし両面印刷すること

【記入上の注意】

(1) 学 歴

- ① 高等学校以降の学歴について入学、転学、卒業または修了を記入すること
大学等での研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること
- ② 出願資格(3)または(6)に該当する者で、外国において学校教育における課程を修了した者は、出願資格(3)の場合は学校教育における16年の課程について、出願資格(6)の場合は学校教育における15年の課程について、小学校から記入し、教育機関毎の在学年数を明記すること

(2) 学会および社会における活動

例えば、学会発表や社会貢献活動等について記入し、証明できる資料があれば添付すること
出願資格(7)に該当する者は、学会発表等の発表抄録（日程等掲載ページ含む）、投稿論文等の写しを添付すること

(3) そ の 他

各事項について所定の欄に記入しきれないときは、当該欄に「別紙に記入」と表示し、その事項を記入したものを添付すること

博士前期課程

☐	スポーツ選抜
☐	社会人選抜
☐	外国人選抜

(該当する試験区分に○をつける)

☐	出願資格(3)	左記に該当なし
☐	出願資格(6)	
☐	出願資格(7)	

(該当する出願資格に○をつける)

年 月 日

出願資格審査申請書

大阪体育大学大学院

スポーツ科学研究科長 殿

フリガナ
氏 名

印

生 年 月 日 年 月 日 生

私は、貴大学大学院スポーツ科学研究科（博士前期課程）スポーツ科学専攻に入学することを希望するので、出願資格審査を申請いたします

学会および社会における活動			
年 月	事 項		
志望学問分野		指導教員名	
志望研究領域			

【記 入 上 の 注 意】

(1) 学 歴

- ① 高等学校以降の学歴について入学、転学、卒業、または修了を記入すること
大学等での研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること
- ② 出願資格(3)または(6)に該当する者で、外国において学校教育における課程を修了した者は、出願資格(3)の場合は学校教育における16年の課程について、出願資格(6)の場合は学校教育における15年の課程について、小学校から記入し、教育機関毎の在学年数を明記にすること
- ③ 職歴のある者は、入職年月と入職機関名を記入すること

(2) 学会および社会における活動

例えば、学会発表や社会貢献活動等について記入し、証明できる資料があれば添付すること
出願資格(7)に該当する者は、学会発表等あれば発表抄録（日程等掲載ページ含む）、投稿論文等のコピーを添付すること

(3) そ の 他

各上記の各事項について所定の欄に記入しきれないときは、当該欄に「別紙に記入」と表示し、その事項を記入したものを添付すること

大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科(博士前期課程)

社会人選抜試験出願資格審査調査書

写真貼付欄

注意

上半身、脱帽、正面向きで、3ヶ月以内に撮影したもの

(4.5cm × 3.5cm)

フリガナ 氏 名		男・女	生年月日	年 月 日 (歳)
現住所	〒			連絡先 - -
学 歴				
年 月	事 項			
学会および社会における活動				
年 月	事 項			

志望学問分野		指導教員名	
志望研究領域			

注1. 裏面の【記入上の注意】を参照すること

2. ダウンロードしたものを使用する際は、【記入上の注意】を裏面にし両面印刷すること

【記入上の注意】

(1) 学 歴

- ① 高等学校以降の学歴について入学、転学、卒業または修了を記入すること
大学等での研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること
- ② 出願資格(3)または(6)に該当する者で、外国において学校教育における課程を修了した者は、出願資格(3)の場合は学校教育における16年の課程について、出願資格(6)の場合は学校教育における15年の課程について、小学校から記入し、教育機関毎の在学年数を明記すること

(2) 学会及び社会における活動

例えば、学会発表や社会貢献活動等について記入し、証明できる資料があれば添付すること
出願資格(7)に該当する者は、学会発表等の発表抄録（日程等掲載ページ含む）、投稿論文等のコピーを添付すること

(3) そ の 他

各事項について所定の欄に記入しきれないときは、当該欄に「別紙に記入」と表示し、その事項を記入したものを添付すること

大阪体育大学大学院
スポーツ科学研究科

博 士 前 期 課 程

職 歴 ・ 職 務 内 容 調 査 書

過去・現在の職歴およびその職名・職務内容についてすべて記載すること
記載欄が不足する場合は、本用紙の裏面をコピーして使用すること

氏 名		志望学問分野	
(生年月日)	(年 月 日生)	志望研究領域	
職 歴	年 月 ～ 年 月		
			常 勤 非 常 勤
職 名・職務内容・研究内容			
職 歴	年 月 ～ 年 月		
			常 勤 非 常 勤
職 名・職務内容・研究内容			

職歴	年 月 ～ 年 月
常勤 非常勤	
職名・職務内容・研究内容	

職歴	年 月 ～ 年 月
常勤 非常勤	
職名・職務内容・研究内容	

職歴	年 月 ～ 年 月
常勤 非常勤	
職名・職務内容・研究内容	

大阪体育大学大学院
スポーツ科学研究科

博 士 前 期 課 程

在 職 証 明 書

年 月 日

大阪体育大学大学院
スポーツ科学研究科長 殿

〒

所 在 地

勤 務 先 名

所 属 先 又
代 表 者 氏

印

次の者が本職場に $\left\{ \begin{array}{l} \text{在職している} \\ \text{在職していた} \end{array} \right\}$ ことを証明いたします

(フリガナ) 氏 名		性 別	男 ・ 女
生 年 月 日	昭和 平成 年 月 日生	年 令	歳
職 業			
職 務 内 容			
勤 続 年 数	年 ヶ月		
採 用 年 月 日	年 月 日		

大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科(博士前期課程)

外国人選拔試験出願資格審査調査書

写真貼付欄

注意

上半身、脱帽、正面
向きで、3ヶ月以内
に撮影したもの

(4.5cm × 3.5cm)

フリガナ 氏 名		男・女	国 籍		生 年 月 日	年 月 日 (歳)	
現住所	〒				連絡先	- -	
学 歴							
年 月	事 項						
学会および社会における活動							
年 月	事 項						

志望学問分野		指導教員名	
志望研究領域			

注1. 裏面の【記入上の注意】を参照すること

2. ダウンロードしたものを使用する際は、【記入上の注意】を裏面にし両面印刷すること

【記入上の注意】

(1) 学 歴

- ① 高等学校以降の学歴について入学、転学、卒業または修了を記入すること
大学等での研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること
- ② 出願資格(3)または(6)に該当する者で、外国において学校教育における課程を修了した者は、出願資格(3)の場合は学校教育における16年の課程について、出願資格(6)の場合は学校教育における15年の課程について、小学校の入学、卒業を正確に記入し、教育機関毎の在学年数を明記すること
- ③ 来日後、日本語習得のために在籍していた教育機関があれば、記入すること

(2) 学会および社会における活動

例えば、学会発表や社会貢献活動等について記入し、証明できる資料があれば添付すること
出願資格(7)に該当する者は、学会発表等の発表抄録（日程等掲載ページ含む）、投稿論文等のコピーを添付すること

(3) そ の 他

各事項について所定の欄に記入しきれないときは、当該欄に「別紙に記入」と表示し、その事項を記入したものを添付すること

試験 区分	一般選抜
	スポーツ選抜
	社会人選抜
	外国人選抜

(該当する試験区分に○をつける)

研究希望等調査書

博士前期課程

受験番号	※			大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科		
フリガナ				男・女	現住所	〒
氏名						
生年月日	年 月 日生					
志望学問分野			指導教員名			
志望研究領域						
1. 入学後の研究希望(研究分野、課題、内容等)						
2. これまでの研究活動の概要						
3. 卒業論文名						
4. 学歴	年 月	学 校 名				
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
	年 月					
5. 職歴	年 月	職 名 ・ 職 務 内 容 等				
	年 月					
	年 月					
	年 月					
6. 体育・スポーツ活動	体育・スポーツに関する取得資格					
		種 目	活 動 内 容			
	高校					
	大学					

注1. ※印欄は記入しないこと

2. 裏面の【記入上の注意】を参照のこと

3. ダウンロードしたものを使用する際は、【記入上の注意】を裏面にし両面印刷すること

【記入上の注意】

(1) 入学後の研究希望

本学大学院入学後、研究を進めていく上で考えられる研究の分野、課題、内容等について記入すること

(2) これまでの研究活動の概要

大学等に在学中、卒業（修了）後又は在職中における、個人又は共同で行った研究発表活動の代表的なものについてその概要を記入すること

(3) 卒業論文名

卒業論文名を記入すること（ゼミ論の場合は注記すること）

当該論文がない場合は「該当なし」と記入すること

(4) 学歴

(1) 高等学校以降の学歴について入学、転学、卒業または修了を記入すること

(2) 大学等での研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること

(3) 大学については学部・学科まで、専門学校等の場合は専攻まで記入すること

(5) 職歴

職歴のある者は、入職年月と入職先機関名等を記入すること

職歴のない者は、「該当なし」と記入すること

(6) 体育・スポーツ活動

学内および学外のスポーツ活動について記入すること

(7) その他

上記の各事項について所定の欄に記入しきれないときは、当該欄に「別紙に記入」と表示し、その事項を記入したものを添付すること

大阪体育大学大学院
スポーツ科学研究科

博士前期課程

試験区分 スポーツ選抜

受験番号

※

スポーツ歴・スポーツ指導歴調査書

フリガナ 氏 名			男・女	生年月日	年 月 日生
学歴	高等学校	高等学校 年 月 日 卒業			
	大学	大学 学部 年 月 日 卒業(見込)			
競技種目					
スポーツに関する取得資格					
〔競技歴〕					
種 目		競技会・主催		成 績	
〔指導歴〕					
種 目		活 動 内 容			

注 ※印欄は記入しないこと

博士後期課程

A 日程・B 日程入試

出 願 書 類

所 定 用 紙

(本学ホームページよりダウンロードできます)

個人情報の取り扱いについて

大阪体育大学大学院では『個人情報保護法』に基づき、個人情報とその取り扱いについて法令の定めに従い個人情報保護に万全を尽くします

出願書類等により提出いただいた志願者の個人情報は、本学大学院での入学試験判定・手続資料としてのみ利用いたします

他の使用目的のためへの情報利用、他部署等への情報提供はいたしません

試験区分		一般選抜
		一般選抜 (プレゼンテーション)

博士後期課程〔出願資格(3)・出願資格(4)〕該当する出願資格を○で囲む

(該当する試験区分に○をつける)

年 月 日

出 願 資 格 審 査 申 請 書

大阪体育大学大学院

スポーツ科学研究科長 殿

フリガナ

氏 名

⑩

生 年 月 日

年 月 日 生

私は、貴大学大学院スポーツ科学研究科（博士後期課程）スポーツ科学専攻に入学することを希望するので、出願資格審査を申請いたします

(該当する試験区分に○をつける)

注意

(4.5cm × 3.5cm)

出願資格審査調査書

フリガナ 氏 名		男・女	生年月日	年 月 日 (歳)
現住所	〒			連絡先 - -
学 歴				
年 月	事 項			
学会および社会における活動				
年 月	事 項			

志望学問分野		指導教員名	
志望研究領域			

2. ダウンロードしたものを使用する際は、【記入上の注意】を裏面にし両面印刷すること

【記入上の注意】

(1) 学 歴

- ① 高等学校以降の学歴について入学、転学、卒業または修了を記入すること
大学等での研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること
- ② 出願資格(3)に該当する者で、外国において学校教育における16年の課程を修了した者は、小学校から記入し、
教育機関毎の在学年数を明記すること

(2) 学会及び社会における活動

例えば、学会発表や社会貢献活動等について記入し、証明できる資料があれば添付すること

(3) そ の 他

各事項について所定の欄に記入しきれないときは、当該欄に「別紙に記入」と表示し、その事項を記入したものを添付すること

試験区分	一般選抜
	一般選抜 (プレゼンテーション)

博士後期課程〔出願資格（3）・出願資格（4）〕該当する出願資格を○で囲む

(該当する試験区分に○をつける)

大阪体育大学大学院
スポーツ科学研究科

博士後期課程

研究業績調書

氏名		志望学問分野	
		志望研究領域	

現在までの研究業績の概要を年度順に記載して下さい		
年 度	所属(大学院等)	研 究 の 概 要

研究計画等調査書

(表紙)

試験区分	一般選抜
	一般選抜 (プレゼンテーション)

(該当する試験区分に○をつける)

フリガナ				受験番号	※
氏名					
男・女	生年月日	現住所	〒		
	年 月 日生				
志望学問分野		指導教員名			
志望研究領域					
学 歴					
年 月	学校名(大学は学部・学科まで、大学院は研究科・専攻まで記入)				
職 歴					
年 月	職歴があれば職名・職務内容なども記入すること				
修士論文名					
研究計画 課題					
特記事項					

- 研究計画書には、①これまでの自己の研究との関連性、②先行研究との関連性における特色や独自性、③3年間の研究計画(方法を含む)、④教育実践との関連性についてそれぞれ項目を分けて記載すること
- A4判の用紙(横書)で、パソコン等により和文で2,000字程度または英文で1,000語程度にまとめ、この表紙を使用し提出すること
- ※印欄は記入しないこと

試験区分		一般選抜
		一般選抜 (プレゼンテーション)

(該当する試験区分に○をつける)

受験番号	※
------	---

修 士 論 文 等 写

(表 紙)

フリガナ	
氏 名	

- (注) 1. 修士論文等の概要を添付すること (A 4 判の用紙を使用、和文の場合は 2,000 字程度、英文の場合は 1,000 語程度)
2. ※印欄は記入しないこと

博士前期課程

博士後期課程

研究奨学生 応募書類

(本学ホームページよりダウンロードできます)

※博士後期課程は「大学院研究奨学生申請願」と「研究業績調書」を提出すること

※博士前期課程は「大学院研究奨学生申請願」を提出すること

大学院研究奨学生申請願

※受験番号

フリガナ		年 月 日生	年 月 入学		
氏 名		男・女 (歳)	年 月 修了(見込)		
出身大学	大学	学部 学科	年 月 卒業		
出身大学院	大学院	研究科 専攻	年 月 修了(見込)		
志望学問分野		※指導教員署名			
志望研究領域					
研究題目 (研究分野)					
研究計画(具体的に記入すること)					
奨学金希望の理由					
本人の収入状況	区分	勤 務 先	職 業	収入金額(年額・税込み)	
				前 年	当 年(見込)
	定 職			万円	万円
				万円	万円
	ア ル バ イ ト			万円	万円
				万円	万円
				万円	万円
	父母等からの給付金			万円	万円
	奨学金(現在申請中のものは除く)			万円	万円
その他の収入(内容)			万円	万円	
配偶者の収入			万円	万円	
本人及び配偶者の収入金額合計			万円	万円	

※印欄は記入しないこと

※印は記入しないこと

研 究 業 績 調 書

※ 受験番号

志望学問分野

氏 名

志望研究領域

※指導教員(署名)

著書、研究論文等の名称と著者名 (記載順に2名までとし、3名以上の場合は最後に「他」と明記)	発行年 (西暦)	発行所または発表雑誌等の 名称・巻・号・頁	査読審査の 有無
【区分 S】			
区分Sの点数合計		点数(主) 50 × ()件 = ()点 点数(主以外) 4 × ()件 = ()点	
【区分 A】			
区分Aの点数合計		点数(主) 20 × ()件 = ()点 点数(主以外) 2 × ()件 = ()点	
【区分 B】			
区分Bの点数合計		点数(主) 10 × ()件 = ()点 点数(主以外) 1 × ()件 = ()点	
【区分 C】			
区分Cの点数合計		点数(主) 5 × ()件 = ()点	
【区分 D】			
区分Dの点数合計		点数(主) 1 × ()件 = ()点	

博士前期課程

長期履修制度

申請書類

(本学ホームページよりダウンロードできます)

長期履修学生申請書・理由書（出願時）

年 月 日

大阪体育大学
学長 神 崎 浩 殿

研 究 科 名 _____

氏 名 _____ 印

生 年 月 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

住 所 〒 _____

電 話 番 号 _____

指 導 教 員 _____ 印

長期履修学生として承認いただきたく、下記のとおり申請します。

記

履修期間 長期履修学生として申請する修業年限 _____ 年
_____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日申請理由 ☐ 職業を有し、就業している ☐ 出産・育児・長期介護・身体の障がい等☐ その他(_____)

(具体的な事由) _____

職 業（申請理由が「職業を有し、就業している」場合に記入）

勤務先 _____ 職種 _____

勤務体制・勤務時間 午前・午後 _____ 時 _____ 分 ~ 午前・午後 _____ 時 _____ 分

1 週間の勤務日数 _____ 日 1 か月の勤務日数 _____ 日 土曜・日曜の勤務 〈 有 ・ 無 〉

-----以下、本学使用欄（記入不要）-----

受験番号	
------	--

承認日	
-----	--

長期履修学生申請用（博士前期課程）

研 究 計 画 書 （ 出 願 時 ）

年 月 日

所 属	研究科	受験番号 (記入不要)	
	専攻	(フリガナ) 氏 名	印

入学後の研究計画

年目	年度	研 究 計 画
1	年度	
2	年度	
3	年度	
4	年度	

-----以下、本学使用欄（記入不要）-----

学長	研究科長	研究教育 委員長	指導教員	大学 事務局長	事務室長	担当者

〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1番1号

大阪体育大学教学部大学院事務局担当

TEL (072) 453-7031 FAX (072) 453-7028

Email : grads-s@ouhs.ac.jp